

2012年 冬
No.125

世界はひとつ

●巻頭特集

～平成24年度地域国際化ステップアップセミナー～

これからの多文化共生における“連携・協働”



▲パネルディスカッションの様子

GICでは、日本人と在住外国人がお互いの文化や考え方を尊重し、ともに安心して暮らすことができる地域づくりを進めています。こうした取り組みには、国、自治体、NPO団体等の様々な担い手による連携・協働が不可欠です。

11月26日、岐阜市内で(財)自治体国際化協会、(特活)多文化共生リソースセンター東海と連携して、これまでの東海地域における取組事例の成果と課題をふりかえり、これからの連携・協働のあり方を探るセミナーを開催いたしました。

本セミナーでは、静岡文化芸術大学の池上教授から、基調講演をいただくとともに、パネルディスカッションでは4名の講師から多文化共生における「連携・協働」の重要性、先駆的な活動内容の紹介や提案がされ、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、講師やブース出展者と参加者、参加者同士の活発な意見交流が行われました。

ここでは、本セミナーの主な発言を紹介します。

- 基調講演：「これからの多文化共生における“連携・協働”」 静岡文化芸術大学 教授 池上 重弘 氏
- パネルディスカッション：「課題を超えた連携に向けて」
 - コーディネーター：多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏
 - パネリスト：【子育て・教育】 (特活)可児市国際交流協会 事務局長 各務 真弓 氏
 - 【就 労】 (一社)グローバル人材サポート浜松 代表理事 堀 永乃 氏
 - 【日本語学習】 豊田市国際課 課長 古橋 三吉 氏
 - 【生活相談】 (特活)愛伝舎(鈴鹿市) 理事長 坂本久海子 氏
- パネリストおよびフロア参加者による意見交換
- ブース出展
 - 多文化共生育児サークル Earth Babies (可児市) VIVAおかざき!! (愛知県岡崎市)
 - (特活)日本ボリビア人協会(三重県津市) (株)Mobile Maker(大垣市)
 - (特活)Mixed Roots×ユース×ネット★こんぺいとう(美濃加茂市)
- 参加者 73名 東海地域の自治体、地域国際化協会、NPO団体ほか

国・自治体

NPO

企業

大学

「これからの多文化共生における連携・協働」

池上 重弘 氏

○連携・協働に向けた留意点

- ・行政に求められる心構えとして、NPO等との連携は、「安い下請け」ではない。単純に業務を委託するのではなく、構想段階からNPO等の連携先と一緒に考える。
- ・社会参加の足場として、外国人当事者の参画を促す工夫をする。
- ・ガイジン好きのインテリとならないように、多文化共生に直接携わる部署、NPO等で実施するのではなく、行政の他部署、企業、自治会など幅広い分野の方とつながっていく。
- ・外国人のためという視点でなく、ユニバーサルデザインとしての視点でとらえる。
- ・社会との関わりに意欲的な若者の参加を促進するため、未来に希望を与える活動を行う。



パネルディスカッション

「課題を超えた連携に向けて」

【子育て・教育】

各務 眞弓 氏

- ・将来の夢や目標が持てるような支援や活動が重要で、子供への支援の最終目的は、将来仕事につき、自立していけること。そのためにも企業との連携は不可欠であるが、実際はハードルが高い。
- ・保護者との関係も大切であり、成育歴や家庭環境を知り、子供の多様性に応じて、専門家と連携して支援する。また、保護者には、「外国での子育ては大変」という覚悟と意識を持ってもらう。
- ・連携の目的のひとつに、NPO等を自立育成するため、NPO等で活動する人やその団体が疲弊しないよう支援することがあげられる。
- ・子供への支援は、単年度の取り組みでなく、継続した事業でなくてはならない。また、継続した取り組みは、事業展開も広がり、さらに、連携者間の理解を深め、顔の見える関係、信頼につながる。
- ・メールマガジン、フェイスブック等による積極的な情報発信を行い、地域住民や企業等の日本人に知ってもらう、参画してもらうよう努めている。



【就 労】

堀 永乃 氏

- ・外国人の不安定な雇用状況、外国人も社会的に認められたい、安定した仕事につきたいという背景から、新たな活路を見出す必要があり、介護施設での就労を支援。
- ・継続的な就労が実現できたことにより、外国人自身及び地域全体にとって、外国人ワーカーが異業種でも戦力となり、外国人が持つ文化・明るさ・声かけ・笑顔、IT技術・iPadを使用した業務報告において、日本人にはない、あるいは優れたところもあることが発見できた。
- ・介護のための日本語研修は、看護師・介護福祉士・ヘルパーの資格を持つ日本語教師の三者でプログラムをつくり、よりリアルな研修に努めた。現場を知るのは現場の人であり、リアルな研修は、受講者をもっと学びたいという姿勢につながる。
- ・連携は人と人のつながりであり、特に、異業種の専門家との連携は支援を広げていく。
- ・課題はすぐに解決しようとするのではなく、じわりじわりと転がしてみる。



【日本語学習】

古橋 三吉 氏

- ・平成20年度から、在住外国人が生活する上で最低限必要な日本語能力を習得できる仕組みの構築と普及を目的として「とよた日本語学習支援システム」を推進している。行政だけでなく、企業、市民団体などと連携した地域全体で取り組める日本語学習支援として実施している。
- ・行政は、大学と連携し、学習支援のためのガイドラインの策定し、それに基づき、日本語教室の立ち上げから運営の支援、専門講師やボランティアの育成、日本語能力判定システムの開発、自宅等で学べるeラーニングやiPhoneを使用した教材の開発・提供を行っている。
- ・今後は、地域全体での連携拡充と行政サービスや生活ルールを習得するための導入教育実施に向けたプログラムづくりを行う。
- ・企業との連携は、企業が何を望んでいるかを把握し、それに呼応した取り組みが必要である。
- ・在住外国人の比率が高い全国の自治体とで外国人集住都市会議を設置し、各種取り組みを行っているが、各地域の得意分野をつなぎあわせ、効果を高めている。



【生活相談】

坂本 久海子 氏

- ・在住外国人を地域の仲間・人材として考え、地域につながるという方針で取り組んでいる。
- ・多文化共生はチーム力であり、人と人のネットワークの形成を目指している。
- ・連携先のひとつとして政治もあり、超党派の地元国会・県・市議会議員の会とも情報交換を行っている。
- ・介護現場で働く人材育成、就労後のフォローを行っているが、介護施設の利用、受け入れは、それまでのサンパチームの介護施設訪問を通じたつながりがあったため、比較的円滑に行われた。
- ・在住外国人は、日本と母国をつなぐことができる貴重な人材であり、帰国した人々とのネットワークも大切にしており、そのネットワークが三重県企業の海外でのビジネス展開にも活かされようとしている。



最後に、池上先生が、「すてきな話を大きな文脈にする」、すなわち、一部の関係者による取り組みから、いかにより多くの各界各層の人々による連携・協働にするかがポイントであり、そのためには、「多文化共生の推進が日本社会にとって大事であることを理解してもらう。」と発言された。

また、閉会にあたり、財団法人自治体国際化協会・多文化共生部長の高橋政司氏が、「外国人が社会の活力、国の活力となるよう支援していかなければならない。」との発言で締めくくられた。

世界の文化紹介

ブラジル「リオのカーニバル」

～森下 アンダーソン 実砂雄 国際交流員に聞く!～

“リオのカーニバル”

誰もが耳にしたことのあるこの名称。派手な衣装でサンバを踊りながら街中を練り歩く・・・というイメージをもたれている方々が多いのでは？

そもそもは？

「カトリックのイースター(キリストの復活祭)の前の40日間が禁欲期間とされているため、その前の数日間を開放的に楽しもうというのがカーニバルの由来です。」

開催時期は？

「キリスト教では陰暦(月暦)を使用している為、カーニバルの期間は毎年変わります。大体2月～3月初めの土曜日から火曜日までの4日間とされています。」



Foto: Rubens Chiri
Banco de Imagens do
Estado de São Paulo

リオデジャネイロだけで行われるの？

「リオだけでなくブラジル中でカーニバルが行われます。リオのように派手で大規模なものもあれば、慎ましやかな所もあります。リオ、サンパウロ、サルバドール、レシフェ、オランダのカーニバルが有名です。」

補足 「リオのカーニバル」や「サンパウロのカーニバル」とは、サンボドロモという巨大な会場で催されるパレード競技会のことです。ただサンバを踊る賑やかなパレードのように誤解されていますが、サンボドロモパレード参加者が世界中から集まった観客を巻き込んで練り広げられる熾烈な競技会です。



第24回「ハローギフ・ハローワールド2012」



GICでは、今年で24回目となる、ハローギフ・ハローワールド2012を開催しました。

県下の30の国際交流団体がブースを出展し、外国人らが民族衣装を着て、母国紹介や団体活動紹介、民芸品販売、各国料理の試飲食等を行いました。サリー、チマチョゴリの民族衣装を試着し、写真やカレンダーに加工するコーナーも好評でした。パフォーマンスプログラムでは二胡演奏や、フラメンコ、ベリーダンスなど各国の舞踊が行われ、会場が盛り上がりました。

今年は日印国交樹立60周年を記念して、インドエスニックバンドの“麻響(makyo)”がインド民族楽器の演奏と民族舞踊を披露。さらに、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会応援事業の一環として、チームミナモが訪れ、一緒に写真を撮ったり、ダンスをしたり、多くの来場者の方が楽しんでいました。

多くの県民の方が、各国ブースを通して、参加外国人と交流し、異文化を体験することができました。



日 時：9月9日(日)10:00～16:00
場 所：CINEXビル、柳ヶ瀬高島屋前ステージ
入場者：約3,000人
主 催：岐阜県国際交流団体協議会、GIC

「岐阜県における多文化共生推進に向けて in 垂井」意見交流会

GICでは、今回、岐阜県で多文化共生活動を行っている団体を対象に、意見交流会を開催しました。

交流会では、各団体の活動報告、成果、課題を共有し、在住外国人をとりまく現状や、それに伴う問題の解決方法などが話し合われ、岐阜県が多文化共生推進のために何が必要なのか、改めて見直すことができました。

また、参加団体同士とのつながりもでき、多様化する支援ニーズに応える体制づくりにも1歩近づくことができました。

日 時：11月19日(月) 13:30～16:30
場 所：垂井町文化会館
参加者：15名
ファシリテーター：多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏
共 催：(特活)泉京・垂井

～テーマ～

- ・ 地域
- ・ 行政との連結
- ・ 日本語
- ・ 教育(外国人児童の学習支援、進路相談)
- ・ 具体的支援
- ・ 企業と外国人の就労のかかわり
- ・ 人材育成、地域づくり

参加者の方から、

「いつもは自分の意見を発言する機会がなかったが、今回の交流会では気軽に発言できたことにより多くの意見を聞くことができ参考になった。」

「今回の参加団体同士つながりを持ち、協力しあい支援していくことで、多様化する支援ニーズに応えたい」などの声をいただくことができました。



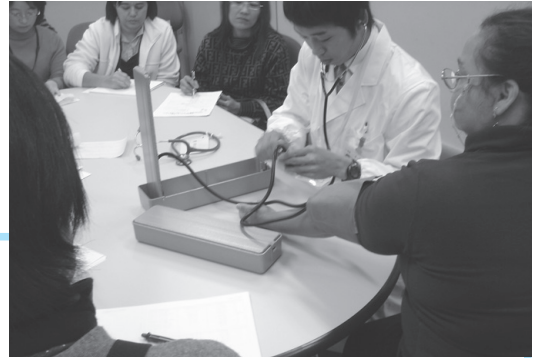
● 医療通訳サポーター研修2012 ●

「医療通訳訓練 バーチャル病院で医療を学ぶ」

医療通訳には、医者と患者をつなぐ大切な役割があります。また医療通訳は専門用語の通訳も多く、命にかかわる問題であるため、様々な知識が必要となります。

医療通訳サポーター研修2012「医療通訳訓練 バーチャル病院で医療を学ぶ」を岐阜大学医学部共催及び岐阜市協力のもと、開催しました。

参加者は病院における診察方法や検査方法を学び、実際に医療器具にも触れ、医療通訳に必要な日本語を深く学びました。



日にち：12月9日(日)13:00～17:00

会場：岐阜大学医学部

参加者：31名

(ブラジル：11名、フィリピン：2名、中国：6名、台湾：1名、ペルー：2名、ホンデュラス：1名 日本：8名)

平成24年度岐阜県医療通訳ボランティア派遣システム実証実験

■ 医療通訳ボランティア派遣先医療機関が新たに加わりました！ ■

本誌秋号(No.124)でお伝えした際は6病院だった岐阜県医療通訳ボランティア派遣システム実証実験の医療通訳ボランティア派遣先医療機関に、新たに6病院が加わり、全12病院に増えました。

従来の岐阜市、大垣市、美濃加茂市、関市の医療機関に加え、各務原市と笠松町の医療機関も加わりました。岐阜市内も新たに3病院が加わり、より多くの医療機関でご利用いただけるようになりました。

派遣先医療機関は下記のとおりです。(11月30日時点)

- ・ 国立大学法人岐阜大学医学部附属病院(岐阜市)
- ・ 岐阜市民病院(岐阜市)
- ・ 大垣市民病院(大垣市)
- ・ 社会医療法人厚生会木沢記念病院(美濃加茂市)
- ・ 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃更生病院(関市)
- ・ 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター(岐阜市)
- ・ 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院(笠松町) **new!**
- ・ 社会医療法人蘇西厚生会まつなみ健康増進クリニック(笠松町) **new!**
- ・ 独立行政法人国立病院機構長良医療センター(岐阜市) **new!**
- ・ 医療法人水谷医院(岐阜市) **new!**
- ・ 公立学校共済組合東海中央病院(各務原市) **new!**
- ・ 医療法人社団良生会棚橋耳鼻咽喉科(岐阜市) **new!**

■ 実績報告(11月30日時点) ■

派遣：13件(タガログ語：7件、ポルトガル語：6件、中国語：0件)

国際交流・多文化共生推進事業助成金(1次募集)のお知らせ

GICでは、活動の拠点が県内である団体が行う国際交流、協力や多文化共生社会づくり事業に対する助成を行っています。

1次募集を次のとおり行う予定ですので、ぜひ、ご活用ください。

● 募集予定期間 ●

平成25年2月4日(月)～3月1日(金)

*平成25年4月～平成26年3月7日まで
に実施する事業が対象

外国人に**伝**えたいこと、**知**ってほしいこと

日本語の勉強のコツ

日本語を勉強しませんか？

日本での生活がより充実したものになり、脳にもいい刺激になります！

ここでいくつかの勉強方法を紹介します。

ランゲージ・エクスチェンジ

あなたの言語を習いたい人を見つけて、カフェでコーヒーでも飲みながら練習する方法です。40分日本語、40分他の言語がよいでしょう。ネイティブでも、文法が上手く説明できるというわけではないので、自由な会話を楽しむのもいいかもしれません。

月に1回程度、日本語と英語の語学交流会が岐阜市の喫茶店で行われます。FacebookでPalleteというページを見ていただくとイベント情報を見ることができます。



岐阜市国際交流協会

授業形式の日本語教室があります。年に2回の受付で、場所は岐阜市内の文化センターです。詳細は協会のHPをご確認ください。

GICのサロン

GICには、国際活動のために自由に使えるサロンスペースがあります。日本語のテキスト、勉強用の雑誌（アルク等）があるので勉強する場所として是非利用してください。（持出禁止）

ボランティア日本語教室

安価でマンツーマン。カリキュラムは決まっていません。詳細は、GICのHPに4カ国語で掲載しています。岐阜市内(GICがある岐阜中ビルやハートフルスクエアGなど)だけではなく、各地域にも日本語教室はありますのでご確認ください。



冬期の寒さ対策

寒い冬を乗り切るために、いくつかのポイントをお伝えします。工夫次第で、快適な生活を送ることができますよ。

灯油ストーブ、ファンヒーターなどを利用する時は換気に注意しましょう。

湯たんぽ

小さいサイズもあるので、家だけでなく、職場でも使えます。



膝掛け

膝の上に掛ける毛布。職場の席に冬の間置いておいてもいいです。

「さびっ！」

これは、「さむい」ということです。友達同士で使う言葉です。

こたつ

こたつ布団に上掛けと敷き布団をプラスすると保温効果が高まり、低めの温度でも暖かくなります。

注意：こたつの中で寝ると風邪を引きます！



電気カーペット、ホットカーペット

机で作業している間、足もとに敷けば足が冷えません。

加湿器

冬の空気はとても乾燥しています。加湿器を使わず、湿ったタオルを部屋に干せば、環境にやさしいです。



使い捨てカイロ

袋から出して、ふって、ポケットの中に入れます。いろいろな種類があります。



機能性下着

防寒機能がついたシャツなどがあります。

断熱マット

暖房効率が下がらないようにカーペットの下に断熱マットなどを敷けば熱が逃げません。

せんと たるい
特定非営利活動法人 **泉京・垂井**



▲生活相談会の様子

●概要

泉京・垂井は、「垂井町に暮らす住民誰もが、垂井町のまちづくりに自ら参加し、行政、事業者、企業など協働して、より「幸福度の高いまち・垂井」を実現する」ことを目的として、垂井町を中心とした西濃圏域、揖斐川流域でのまちづくり、環境、生涯学習、多文化共生活動などを行っている団体です。

●外国籍住民との交流会

地域の歴史・文化や自然に親しむウォーキング、旅行、料理交流会などを開催しています。

●ポルトガル語通訳窓口

垂井町役場での手続きが円滑に行えるよう、窓口の案内、通訳、翻訳を行っています。

場所：垂井町役場1階

時間：毎週水曜日 8:30～12:30

(お休みの日もあります)

- 設立：2005年
- 会員：51名
- 代表：浅野 宏
- 事務局：不破郡垂井町1791-1
TEL&FAX 0584-23-3010
<http://sento-tarui-blog.cocolog-nifty.com/blog/>

●ポルトガル語による生活相談会

労働、子育て、健康など生活に関することを気軽に相談できる場を設けています。

場所：泉京・垂井事務所

時間：毎月第1・3土曜日

14:00～16:00

(お休み、変更の日もあります)

●日本語会話交流会

日本人と外国籍住民が日本語を使って交流する場を設けています。日本語学習や、日本の習慣、地域の生活情報の提供をしています。

場所：垂井町中央公民館2階

時間：毎月第2・4日曜日

14:00～16:00

(お休み、変更の日もあります)

●泉京・垂井からのメッセージ

国籍や立場に関係なく、お互いに教え合い、学び合い、支え合うことは、外国籍住民だけでなく、日本人にとっても暮らしやすい地域になるはずですが、外国籍住民に届いていない情報を伝えていくことから始めています。誰でも気軽に参加していただける活動です。皆さまのご参加をお待ちしています！

JICA

コーナー



みなさん、こんにちは。JICA岐阜デスクの各務です。寒い日が続きますが、みなさんは如何お過ごしでしょうか。もうじき訪れる桜の季節を楽しみに、冬も張り切って参りましょう。今回はJICA岐阜デスクのイベント報告です！

イベントの報告

10月13日(土)「岐阜で一番受けたい授業～国際協力を通じて～」を岐阜大学にて開催しました。今回は社会人と学生さんを中心に形成されるチャリティーイベント団体SH2ITS(シッツ)さんとJICA岐阜デスクが共催。「国際協力」をテーマに、JICAや青年海外協力隊の活動紹介をした後、2009年に話題となった「マジでガチなボランティア」というドキュメンタリー映画の上映を行いました。そして、メイン講師はその映画の主演で現在は医師としてご活躍される石松宏章氏。学生時代に取り組みされたカンボジアへの支援についてや、その困難を乗り越えてきたエピソードをお話頂きました。石松氏への質問タイムでは次々と手が上がり、皆さんがとても熱心にお話を聴いて下さったのだと感じました。今回のイベントでは参加して下さった皆さんに、国際協力やその活動に携わる方を知って頂く、またイベントを通じての出会いによって、普段の生活がより充実するようなきっかけにして頂きたくて、明るく快活なSH2ITSさんと企画をしました。多くの方にご参加頂き、とても嬉しかったです。皆さん、本当にありがとうございました。次回の企画も皆さんに楽しんで頂けるよう頑張ります！是非、またお気軽に遊びに来て下さいね!!



～ JICAボランティアや国際理解教育など、お気軽にお問合せください～
JICA岐阜デスク 岐阜県国際協力推進員 各務 茉莉(かがみ まり)
tel: 058-263-8069 E-mail: jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

メッセージボード Message board

このコーナーでは、県内の国際活動団体のイベント・講座などをお知らせします。掲載をご希望の方はGICまでご連絡ください。

岐阜県国際交流センターの催し

国際交流文化サロン 「中国・江西省への旅のご案内」

おいしい江西省の銘茶を飲みながら、江西省の名所や、旅の体験談のお話をききませんか。

- **と き** 1月27日(日)
13:00~15:00
- **と ころ** ふれあい福寿会館
- **定 員** 申込先着30名(賛助会員優先)
- **参加費** 無料
- **問合せ先** GIC

国際交流文化サロン 「ブラジルのコーヒー講座」

コーヒーの歴史から、コーヒーの入れ方まで、ブラジルのコーヒーとスイーツを味わいながら、学びましょう。

- **と き** 2月10日(日)
14:00~16:00
- **と ころ** いしぐれ珈琲(岐阜市柳ヶ瀬)
- **定 員** 申込先着 10名
(賛助会員優先)
- **参加費** 700円(賛助会員300円)
- **問合せ先** GIC

災害時語学サポーター研修

大規模災害が発生し、外国籍の方々も被災者となった場合、地域としてどうすべきかを学びます。

- **と き** 2月17日(日)
10:00~17:00
 - **と ころ** 可児市多文化共生センター
フレビア
 - **参加費** 無料
 - **定 員** 20名程度
 - **問合せ先** GIC
- *時間は変更する可能性があります

国際交流文化サロン 「ノルマンディーを身近に感じよう!!」

フランスの北西部『ノルマンディー』を紹介! ノルマンディーの魅力を見ましょう。

- **と き** 2月24日(日)
14:00~15:30
- **と ころ** GIC
- **参加費** 無料
- **定 員** 申込先着30名(賛助会員優先)
- **講 師** ティボ・ムリス氏(岐阜県国際交流員)
- **問合せ先** GIC

Frevia Café

フレビアカフェは毎月第3土曜日にOPEN!

世界のデザート、スナックを販売中!是非ご賞味下さい。

- **と き** 1月19日(土)
11:00~14:00
- **と ころ** 可児市多文化共生センターフレビア
- **問合せ先**
可児市多文化共生センターフレビア
TEL: 0574-60-1122
<http://www.ctk.ne.jp/~frevia/>

世界の料理講座 第3回 ロシア料理

ロシアの漆紅色スープ、ボルシチで寒さをしのぎましょう!

- **と き** 1月20日(日)
10:00~13:00
- **と ころ** 養正公民館(多治見市)
- **定 員** 20名
- **参加費** 1,000円(会員 500円)
- **問合せ先** 多治見国際交流協会
TEL: 0572-22-1111
(内線1312)
<http://www.city.tajimi.gifu.jp/bunka-sports/kokusai/top.html>

イザベラ・ア・カペラコンサート

オーストラリア・サザンクロス大学のアカペラグループを招き、地元美濃加茂市で活動するアカペラグループとのジョイントコンサートを開催します。

- **と き** 1月27日(日)
17:00開演~18:30
 - **と ころ** みのかも文化の森(美濃加茂市)
 - **参加費** 無料
 - **問合せ先** (特活)美濃加茂国際交流協会
TEL: 0574-24-7771
<http://www.miea-jp.com>
- *本公演はチャリティーコンサートになります。収益金はすべてサザンクロス大学・日本センターの活動資金とさせていただきます。

2013年春節餃子パーティー

中国の旧正月「春節」にちなんで、餃子の皮から手作りします。参加者全員で餃子を包みながらお互いの交流を深めませんか。

- **と き** 2月3日(日)
9:30~14:00
- **と ころ** 市橋コミュニティセンター
(岐阜市)
- **定 員** 申込先着 30名
- **参加費** 日本人 900円
外国人 400円
- **問合せ先** 岐阜日中協会 担当: 藤本
TEL: 058-272-3172

スポーツ交流会&もちつき体験

スポーツ交流した後は、餅つき体験をし、つきたてのお餅とスープでポカポカに。外国人参加も多数! 楽しく国際交流しましょう。

- **と き** 3月3日(日)
10:00~13:00
- **と ころ** わかくさ・プラザ 総合体育館(関市)
- **定 員** 100人
- **参加費** 無料
- **問合せ先** 関市国際交流協会
TEL: 0575-23-6806
<http://www.city.seki.gifu.jp/cosmopia>

プーリムカーニバル

その昔、悪い大臣からユダヤ人を救った美しいお姫様がいました。プーリムカーニバルとはそれを記念するお祭りです。仮装パレードやステージショー、ゲーム大会など内容盛りだくさん!

- **と き** 3月10日(日)
13:00~16:00
 - **と ころ** 夢広場ゆうゆう(八百津町)
 - **対 象** 幼児~小学校高学年
(大人の仮装も大歓迎!)
 - **参加費** 前売り券 200円
(2月10日以降販売)
当日券 300円
 - **問合せ先** 八百津町役場
TEL: 0574-43-2111(内線2254)
<http://www.town.yaotsu.lg.jp>
- *自分の好きなキャラクターの仮装をしてご来場ください。お子様にはお菓子のプレゼントもあります!

GICのホームページをリニューアルしました!

GICのホームページをリニューアルしましたので、ぜひ、ご覧ください。アドレスは以前と変わりません。URL <http://www.gic.or.jp>
トップページに「国際交流・多文化共生広場(他団体等からのお知らせ)」コーナーを設け、国際活動団体のイベント等を掲載しますので、ぜひ、ご利用ください。

発行

公益財団法人岐阜県国際交流センター(略称GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067 トリオフォン 058-263-8066

E-mail gic@gic.or.jp URL <http://www.gic.or.jp>

開館案内 開館 日~金曜日 9:30~18:00 休館 土曜日、祝日、年末年始

